

# まほろば秦野通信

令和2年1月27日

タイトル	春季企画展「秦野スポーツあの日あの時―戦後復興期―」
When (いつ)	2月1日(土曜日)～3月22日(日曜日)
Where (どこで)	桜土手古墳展示館(堀山下380-3)
What (なにを)  How (どのように)	<p>戦後の混乱期から生活のゆとりを取り戻しつつあった昭和30年代、神奈川国体や東京オリンピックが開かれました。この頃秦野では一般の人たちがどのようにスポーツに向き合ったのかをご紹介します。</p> <p>県西部で初めてできたプール、国体を機に造られた体育館、昭和39年の聖火リレー、市民体育祭に参加する人々の様子を写真パネルで紹介いたします。</p> <p>また、聖火リレーの際、着用したユニフォームや当時のパンフレット、新聞、公文書など、写真パネル42点、資料30点を展示します。</p>
Why (なぜ)	2020年東京オリンピック控え、スポーツに対する興味関心が高まっているので、秦野の市民スポーツの歴史を振り返ります。
How much (予算)	入場無料
過去の実績	今年度は、春季企画展「秦野の平成史」、夏季企画展「丹沢に魅せられて」「たばこ資料展」、秋季企画展「遺跡・遺物が語る秦野の歴史」、冬期企画展「昔の暮らし、秦野の風景」を開催。
今後の取り組み	展示に合わせ、第6回ミュージアムさくら塾でスポーツ関連の講座(「日本の近代化とスポーツの普及」)を行う予定です。
問い合わせ	生涯学習課文化財・市史担当 担当：関口 電話0463(87)9581